

支援者としての姿勢と基本技能

～これまでの実践を振り返り、気持ちを新たに～

かながわライフサポート事業では、生活に困りごとを抱えた本人のニーズに寄り添いながら、他の制度・施策では対応できない緊急一時的な支援を主に行っています。

これまで行ってきた生活困窮支援を振り返ることで、生活困窮者を対象とした相談支援の力量の向上、次の実践へつなげていくことを目的に研修を開催いたします。

1. 目的

本来、困りごとを他者に話す行為は、自尊心を削られるような苦痛を伴うものとなります。要件審査を伴う給付や貸付の受付の場合、さらに本人にとっては私生活をさらけ出さなければならないような感覚を抱き、苦痛はさらに大きくなるものです。私たちは支援者として、その痛みにどれほど想像力を働かせることができているでしょうか。

本研修では、本人が発している態度や発言の背後にある困りごとを見逃さないよう、相談者と出会いつながるためにはどうしたらいいのか考えます。感情的な理解や共感的な関りを見直し、相談者がより安心して心を開けるような具体的な支援のあり方やアプローチのヒントを、講義と参加者同士の意見交換を通じて学び、明日からの実践に活かすことを目的とします。

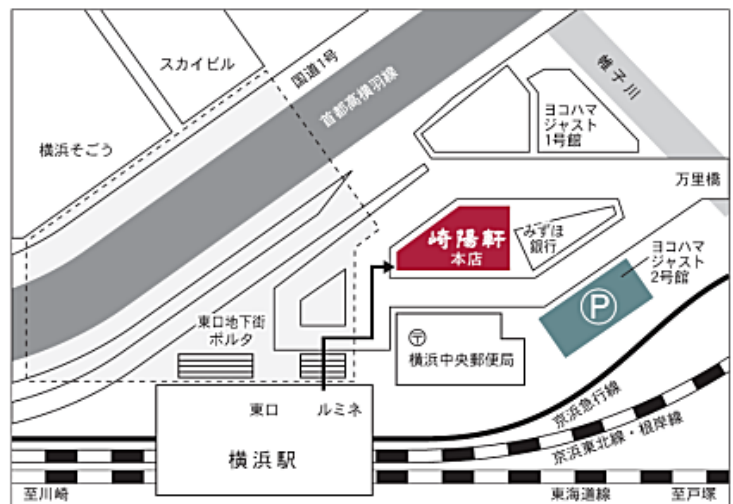
2. 日時

令和8年3月13日(金)
午後2時から4時45分まで
※午後1時30分開場

3. 会場・開催方法

【会場】 崎陽軒 6階1号会議室
(横浜市西区高島2-13-12)

【開催方法】 集合研修



4. 対象・定員等(参加費無料)

定員30名

- ・かながわライフサポート事業コミュニティソーシワーカーまたは参加法人の職員
- ・生活困窮者支援に関わる市区町村社会福祉協議会職員
- ・生活困窮者自立支援事業相談員等、生活困窮者支援に関わりのある市区町村職員

5. 講師・プログラム

<講師> 鈴木 晶子(スズキ アキコ) 氏

認定 NPO 法人フリースペースたまりば事務局長、NPO 法人パノラマ理事
生活困窮者自立支援全国ネットワーク理事

大学院生時代にひきこもりの若者の家庭教師をしたことをきっかけに、若者支援をスタート。横浜でひきこもりの若者たちの集まるフリースペースのスタッフ、就労支援機関の心理相談員、総括コーディネーターを経て、インクルージョンネットかながわの設立に参画、代表理事も勤める。

現在、子ども若者の居場所づくりや、食支援、そこから始まる相談支援や地域づくりに取り組みながら、全国の生活困窮者支援従事者の人材育成事業にも携わっている。臨床心理士/公認心理士。編著書に「子どもの貧困と地域の連携・協働」等。

<研修プログラム>(予定)

時間	内容
14:00	開会・オリエンテーション
14:05~16:15 (130分)	講義+グループワーク (適宜休憩を挟む)
16:40	終了

(時間配分等は目安です)

6. 参加申込方法

・下記インターネットサイト (Google フォーム) にて、お申込みください。

申込URL【 <https://forms.gle/7GUQefJrmnKgMBQc6> 】

※申込締切 令和8年3月6日(金)

・複数人でお申込みいただく場合は、連名ではなくお一人ずつのお申込が必要です。

(研修の中でグループワークを行うため)。

・受講決定通知等の発行はありません。申し込みをもって受講決定といたします。

★ご提供いただいた個人情報、当事業に関わる連絡・情報提供に利用し、本人の許可なく第三者に提供することはありません。



7. その他

・研修会の録音・録画、レジュメ資料の転用は禁止とさせていただきます。

・止むを得ない理由により、開催中止となることもあります。その場合は前もってメールでご連絡させていただきますが、急な場合は当日の午前中の連絡になることもございますので、あらかじめご承知おきください。

事務担当は、

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2 神奈川県社会福祉センター7階

電話 045-3311-8753 FAX 045-312-6302